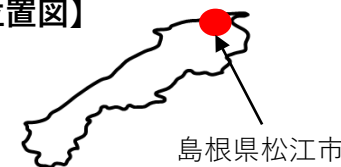


移住から就農までのトータルコーディネート

- 農政コーディネーターを配置し空き家情報や空き農地の情報収集を行い、IUターンの就農希望者へ研修から就農までのトータルコーディネートを実施
- ゴールデンパールメロンやキャベツの就農パッケージ(研修から就農相談までの流れや経営規模、所得等がわかる資料) や就農パンフレットを作成し、活用

【位置図】



島根県松江市

取組前

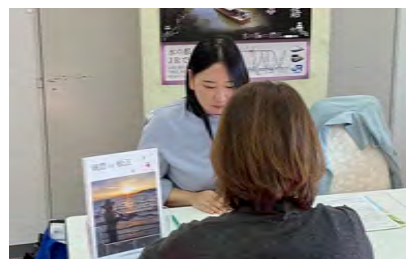
- 松江市では松江市農山漁村地域活性化基本計画で新規就農者年間14名(自営就農者4名、雇用就農者10名)を目標に掲げている。
- 松江市では農業従事者数が年々減少し、担い手不足によって地域農業の維持や発展が難しくなっていた。このため、市内外から就農希望者を確保し、円滑に就農へつなげるためのコーディネート体制の整備が課題とされていた。

取組内容

- 農政コーディネーターを1名配置し、相談窓口の対応、地域との調整、補助事業申請の助言、農業経営や地域生活に関する課題への助言、空き農地・空きハウス・空き家の情報提供などの業務を行った。
- 新たに作成したパッケージと就農パンフレットを活かし、県内外フェアで松江での就農の魅力発信に活用した。
参加フェア：
7月4日農大就農ガイダンス、
10月27日新・就農人フェア、
12月1日のしまね就農相談会

取組後(成果)

- 新規就農者数
過去3年平均(R3～R5) 3人
→R6:10人(自営就農者6名、雇用就農者4名)
R7:8名(自営就農者1名、雇用就農者7名)
- 就農フェアでの相談人数
23名(内県外フェア15名)



【サポート体制】

県、J A、市、農業者（農業委員、指導農業士等）の各担当でサポートチームを編成し、就農準備から就農後の定着までサポートを継続的に行う。

各機関の役割は以下の通り。

- 県：栽培技術指導、就農計画策定支援
- J A：資金調達、農業機械等のあっせん
- 農政コーディネーター（市）：相談窓口、農地のあっせん、地域との調整、補助事業申請の助言
- 農業者（農業委員、指導農業士等）：研修受入、農地情報の提供

新規就農者や研修生の声

- 農業は情報が少なく、自分に合った農業がなかなか分からず悩んでいました。そんな時、農政コーディネーターに3件の農家での研修をアテンドして貰いました。どの農家ともつながりができ、現場のリアルな話を聞いたことで自信を持って就農に踏み出すことができました。

サポート体制構築事業 活用年度：令和6年度

【問合せ先】松江地域農業再生協議会（松江市産業経済部農政課）
TEL：0852-55-5224 E-mail：n-shinkou@city.matsue.lg.jp
<https://www.city.matsue.lg.jp/soshikikarasagasu/sangyokeizaibunoseika/sangyoshinko/1/1/1/3235.html>